

令和7年度 長井市社会福祉協議会 事業計画

基本方針

「令和6年7月から新一万円札の顔となった渋沢栄一は、「近代日本経済の父」等と称されていますが、全社協の初代会長でもあり、今日の社会福祉の礎となる慈善事業の推進、寄付文化の振興にも大きな功績を遺しました。また社会福祉の広範な分野、事業経営やネットワーク整備をはじめ、災害時支援などにまであまねく関与しました」と、全国社会福祉協議会のホームページに記載されています。

全社協が明治41年（1908年）に産声を上げた当時は、貧富の格差が大きく、福祉の役割が大きくなっていった時代だったと思います。

翻って、現在の社会状況を見ると、全国的にも、そして長井市も同様に、少子高齢化や人口減少が言われ、その進行は加速度をつけて悪化しています。

長井市の出生者数は、平成26年（2014年）の202人から令和6年（2024年）の102人と、ほぼ10年間で半減しており、危機的状況にあると言っても過言ではありません。

しかし、この状況に立ち向かわなければ地域は本当に消滅してしまいます。

渋沢栄一が目指した、社会福祉の志が今ほど重要になっている時代はないものと思います。

長井市社会福祉協議会では、令和7年4月から、5箇年計画で市の第4次地域福祉計画と連携した、第4次地域福祉活動計画を策定しました。ますます重要度が高まる福祉的な地域課題などに対応する仕組みづくりを進めたいと考え、この計画をもとに令和7年度事業を推進してまいります。

これまでの事業活動を顧みながら、新たな課題の解決に向け、長井市及び関係団体、民間企業の皆様と連携を図りながら、地域住民の皆様とともに、各事業に取り組んでまいります。

本年度の重点事業については以下のとおりです。

1 生活困窮者自立支援事業の推進

コロナ後の生活再建や、生活困窮者の自立を目的に、対象者からの相談に応じ、関係機関との連携を強化し、各種資金の貸し付けやフードバンクなどを活用し、相談者に寄り添った支援を行います。

2 ボランティア人材の育成

ボランティアへの関心を高め、活動参加のきっかけづくりや実践者の育成を図るため、各種養成講座を実施します。また、市内企業等との連携拡大を図ります。

3 ボランティアコーディネートの促進

ボランティア登録・派遣制度により、ボランティアの登録及び活動のコーディネートを促進します。また、ボランティアコーディネーターを配置し、活動に対するアドバイスや丁寧なコーディネートによるボランティア活動の活性化や、活動者の拡大を図ります。

地域福祉活動計画に関する事業

基本目標1 誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくり

1-1地域ぐるみの防災体制の充実

1-1(1)災害ボランティアセンター、災害ボランティア活動

1-1(1)①災害ボランティアセンター、災害ボランティア活動

(支出区分:法人事務局) R7予算案 77千円

R6予算 85千円

長井市、関係機関と連携し災害ボランティアセンターの運営及び災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、連絡会及び訓練の実施、企業・団体などを含めた協力者の拡大を図るなどの環境整備に努めます。

区分	R7計画	R6実績見込
災害ボランティアセンター連絡会開催回数	1回/年	1回/年
災害ボランティアセンター設置運営訓練開催回数	1回/年	1回/年

1-2 相談・支援体制と情報発信の充実

1-2(1)総合相談事業

1-2(1)①総合相談事業

(支出区分:法人事務局) R7予算案 42千円

R6予算 42千円

社協での総合相談(身近な相談、生活困窮相談など)を通じて、ニーズを把握し、課題解決に向け関係機関と連携して対応していきます。利用しやすい相談体制づくりと利用拡大を図ります。

- ①老人福祉センターでの職員による相談受付(常時) ④心配ごと相談日(毎月最終木曜日)
②専門相談の充実(弁護士相談) ⑤民生委員との連携・ニーズ把握
③相談員研修会の開催(年1回)

区分	R7計画	R6実績見込
②専門相談(弁護士相談)実施	1回/年	1回/年
③相談員研修会の開催(年1回)	1回/年	0回/年

1-3各種福祉関係施策の充実

1-3(1)障がいのある方の交流の場の支援、障がいに対する理解促進活動

1-3(1)①障がいのある方の交流の場の支援

(支出区分:法人事務局) R7予算案 10千円

R6予算 10千円

障がいのある方の交流活動をボランティア・関係機関と連携し支援していきます。

区分	R7計画	R6実績見込
研修会・座談会実施回数	1回/年	1回/年

1-3(1)②福祉講座・福祉学習・バリアフリーの理解促進

地域・団体の集まりの会や学校などに社協職員を派遣し、福祉教室や福祉学習を行うことで支え合いの地域づくり、障がい、バリアフリーなどの理解促進に努めます。当事者の方に講師を依頼するなどプログラムの改善に努めます。

講座内容

- ・地域福祉について ・ボランティア活動について ・車いす体験 ・視覚障がい体験 ・点字体験 ほか

区分	R7計画	R6実績見込
講座実施件数・参加人数	10件・150人	5件・66人

1-3(2)生活困窮者相談支援

1-3(2)①生活困窮者自立支援事業(重点)(市からの受託事業)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 8,981千円 R6予算 8,822千円

生活困窮者の自立を目的に、関係機関との連携を強化し早期把握と相談援助、各種資金の貸付やフードバンクの活用などを通じて、相談者に寄り添った支援を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
新規相談件数	50件/年	51件/年
延べ相談件数	1,300件/年	1,300件/年
支援継続ケース	24件	24件

1-3(2)②生活福祉資金貸付事業(県社会福祉協議会からの受託事業)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 4,367千円 R6予算 4,367千円

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯の生活安定や在宅福祉及び社会参加の促進を図るために、世帯単位への貸付を行います。貸付後の定期的なフォローアップにより、借受世帯への情報提供や相談対応、必要に応じた支援を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
生活福祉資金貸付件数	7件/年	7件/年
生活福祉資金貸付金額	6,000千円/年	5,794千円/年

1-3(2)③たすけあい資金貸付事業

(支出区分:法人事務局) R7予算案 1,253千円 R6予算 1,251千円

低所得世帯の生活つなぎ資金として5万円を限度として貸付を行うとともに、支援が必要な世帯については継続的な相談支援を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
たすけあい資金貸付件数	25件/年	16件/年
たすけあい資金貸付金額	1,250千円/年	750千円/年

1-3(2)④フードバンク活動の実施

フードバンクについて周知を図り、ご協力いただいた寄附食料を生活困窮者相談窓口を通じて、支援が必要な世帯へ提供し活用します。

区分	R7計画	R6実績見込
フードバンク提供件数	500件/年	465件/年

1-4セーフティネットの機能強化

1-4(1)福祉サービス利用援助事業

1-4(1)①福祉サービス利用援助事業(県社会福祉協議会からの受託事業)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 2,270千円 R6予算 2,270千円

認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方などに対して、福祉サービスの相談援助や日常的な金銭管理などの支援を行います。関係機関との連携により、権利擁護の取り組みを進め、地域で安心して生活が営めるように支援します。

区分	R7計画	R6実績見込
援助継続件数	30件	28件

基本目標2 誰もが生きがいの持てるまちづくり

2-1子どもが健やかに成長できるまちづくり

2-1(1)地域の子育て活動の支援

2-1(1)①子ども食堂の立上げ、運営支援(重層的支援体制整備事業(新規)市からの受託事業)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 87千円 R6予算 72千円

子ども食堂などの地域での子育て支援活動の立上げや活動継続に向け、情報の提供・情報共有、専門的アドバイスなどにより支援していきます。

区分	R7計画	R6実績見込
子ども食堂(虹のひろば(社協実施)) 実施回数	12回/年	12回/年

2-2こころと体の健康づくり

2-2(1)②長井市老人福祉センター設置経営

(支出区分:法人事務局) R7予算案 4,902千円 R6予算 5,744千円

高齢者などの健康増進やレクリエーション、こころの健康に関する相談も含めた各種相談の拠点施設として活用いただきます。

- ・開館日 12月29日～1月3日を除く毎日
- ・使用時間 9時30分～16時

区分	R7計画	R6実績見込
利用人数	5,000人	4,900人

基本目標3 地域の活力あるまちづくり

3-1地域活動の担い手の確保と育成

3-1(1)広報・啓発活動

3-1(1)①社協だよりの発行

(支出区分:法人事務局・介護・はなぞの・せせらぎ) R7予算案 820千円 R6予算 721千円

地域福祉・ボランティアについてよりわかりやすく多くの人に届けるための情報の発信、福祉団体などへの情報提供を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
広報発行回数(全戸配布)	4回/年	4回/年

3-1(1)②ホームページなどの運営

(支出区分:法人事務局) R7予算案 86千円 R6予算 86千円

現状に合わせた発信方法を取り入れるなど、ホームページなどでの情報発信の改善に努め、地域福祉・ボランティア情報の周知を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
ホームページ記事投稿件数	30件/年	31件/年

3-1(2) 支えあい活動の支援

3-1(2)① ボランティア団体活動支援(集まりの場支援)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 409千円 R6予算 409千円

構成員が5人以上の地域の自主的な集まりの場や支えあい活動に対して補助金制度と活動支援を行います。

- ・活動費補助金 1団体 活動費上限 40,000円/年
- ・備品購入費 支出合計額の3/4(20,000円上限)

区分	R7計画	R6実績見込
補助実施件数	10件	10件

3-1(3) ボランティア活動の普及促進

3-1(3)① 福祉・ボランティアイベントの開催(福祉まつり)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 90千円 R6予算 73千円

ボランティア講座やボランティアを体験する機会の提供などを含めたイベントの開催により、福祉・ボランティア活動への理解促進やボランティア活動者の拡大を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
実施回数・参加人数	1回/年・250人	1回/年・30人

3-1(3)② ボランティア人材の育成(重点)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 192千円 R6予算 140千円

ボランティアへの関心を高めるとともに、活動へのきっかけづくりや実践者の育成を図るため、学生・社会人を対象とした各種ボランティア講座などを実施します。ボランティア分野での企業・団体との連携拡大を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
ボランティア研修実施回数・参加人数	1回/年・40人	1回/年・30人
小中高生ボランティアスクール実施回数・延べ参加人数	3回/年・30人	2回/年・10人
ボランティア体験作文実施回数・表彰式参加人数	1回/年・40人	1回/年・31人

3-1(4) ボランティア活動者・団体への活動支援

3-1(4)① ボランティアコーディネートの促進(重点)(重層的支援体制整備事業(新規)市からの受託事業)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 95千円 R6予算 61千円

ボランティア登録派遣制度により、ボランティア登録及びボランティア活動のコーディネートを促進していきます。ボランティアコーディネーターを配置し、活動のアドバイスや丁寧なコーディネートによりボランティア活動の活性化を図ります。切手仕分けボランティア活動など身近で参加しやすいボランティア活動の場の創出を行い、ボランティア活動者の拡大を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
ボランティア登録数	65団体・個人	64団体・個人
ボランティアコーディネート数	150件/年	116件/年

3-1(4)② ボランティア活動団体支援

(支出区分:法人事務局) R7予算案 240千円 R6予算 240千円

ボランティア活動を行う団体に対し、活動の促進を目的に補助金制度と活動支援を実施します。

- ・活動費補助金 1団体 活動費上限 40,000円/年
- ・備品購入費 支出合計額の3/4(20,000円上限)

区分	R7計画	R6実績見込
補助実施件数	6件	3件

3-1(4)③ ボランティア団体の連携支援(新規)

(支出区分:法人事務局) R7予算案 12千円 R6予算 0千円

こども食堂や災害ボランティアなど必要に応じた分野ごとの連携支援を図ります。ボランティア活動に関する企業・団体などとの連携拡大に努めます。

3-1(4)③ボランティアセンター運営委員会の開催

(支出区分:法人事務局)

R7予算案 30千円

R6予算 30千円

ボランティアセンター運営委員会を設置し、委員からボランティアセンターの活動についての意見、活動への参加協力をいただき、ボランティアセンターの活動促進を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
運営委員会の開催	2回/年	2回/年

3-2地域における福祉活動の充実**3-2(1)福祉活動拠点への支援****3-2(1)①福祉活動拠点への支援**

各地区の要請により地域福祉活動の立上げ、運営に対し、福祉サービスや活用できるメニューの情報提供、福祉教室などの実施により活動の支援を行います。

地域福祉活動計画以外の事業**4-1 介護事業****4-1(1)居宅介護支援事業**

(支出区分:介護事業所)

R7予算案 17,186千円

R6予算 17,541千円

心身の状況や置かれている環境等に応じて、利用者及び家族の意向を尊重し、状態に適した居宅サービス計画を作成し、多様な事業者から総合的かつ効果的な福祉サービスが利用できるように連絡調整、紹介などを行います。

区分	R7計画	R6実績見込
介護支援専門員	3人	3人
居宅介護支援利用件数	90件/月	86件/月
介護予防居宅介護支援利用件数	13件/月	13件/月

4-1(2)訪問介護事業

(支出区分:介護事業所)

R7予算案 22,897千円

R6予算 20,930千円

要介護者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう適正な介護計画を作成し、身体介護、生活援助等のサービス提供を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
常勤訪問介護員	2人	2人
登録訪問介護員	8人	8人
訪問介護利用件数	43件/月	41件/月
介護予防・日常生活支援総合事業 利用件数	21件/月	21件/月

4-1(3)障害者等居宅介護事業

(支出区分:介護事業所)

R7予算案 9,092千円

R6予算 10,753千円

障がいのある方の心身の状況に応じて自立した生活が営めるよう、身体の介護及び家事の援助など、日常生活の支援を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
障害者等居宅介護利用者数	20件/月	18件/月

4-1(4)介護保険・障害者総合支援以外の介護事業

要介護者等で日常生活を送る上で支障のある高齢者等に対し、介護保険適用外の家事の援助、院内介助等のサービス提供を行い、自立した生活を送る支援を図ります。

介護保険適用外日常生活援助事業

・利用者数見込み 2名/月

4-2障がい福祉サービス事業

4-2(1) 障がい福祉サービス事業所せせらぎの家の設置経営

(支出区分:せせらぎの家) R7予算案 93,274千円 R6予算 89,031千円

就労継続支援B型事業所として、障がいのある方の自立と社会参加を促進するため、作業訓練及び日常生活上の支援を通し、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう、利用者の意向と心身の状況、生活環境を踏まえて、個別支援計画に基づく適切なサービスの提供充実に努めます。安定的な施設経営を目指し、経営改善検討により今後求められるサービスの検討や事業の見直しを行い、利用者が安心して利用できる施設づくりに努めます。

区分	R7計画	R6実績見込
利用者数	46人	45人

4-3保育・子育て支援事業

4-3(1)①はなぞの保育園の設置経営

(支出区分:はなぞの保育園) R7予算案 140,808千円 R6予算 151,812千円

地域の保育ニーズに応え、心身共に健やかに育つための環境づくりを行い、児童福祉の理念を保育の基本とし子どもの人権を尊重しながら、安心して信頼される保育園を目指し取り組みます。

・入所定員 100名 ・受入年齢 4か月～5歳児

区分	R7計画	R6実績見込
利用者数	94人	115人

4-3(1)②病児保育施設「みつばちルーム」の運営

(支出区分:はなぞの保育園) R7予算案 10,442千円 R6予算 10,744千円

市からの受託事業として病気となった子どもの受け入れを行い、保育を行います。

・入所定員 3名(事前登録制) ・受入年齢 生後6か月から小学校3年生まで

区分	R7計画	R6実績見込
延べ利用者数	229人/年	220人/年

4-3(2)長井市致芳児童センターの経営

(支出区分:長井市致芳児童センター) R7予算案 48,550千円 R6予算 49,111千円

指定管理者として児童福祉の理念に基づき健全な児童福祉の向上に努めると共に、保護者や地域との連携を密にし、多様化する保育ニーズに対応できる施設づくりを進めます。より信頼される児童センターを目指し職員の資質の向上に努めます。

・受入年齢 2歳～5歳児

区分	R7計画	R6実績見込
利用者数	29人	32人

4-3(3)長井市致芳学童クラブの管理運営

(支出区分:長井市致芳学童クラブ) R7予算案 12,997千円 R6予算 12,566千円

市からの受託事業として、小学生を対象に致芳小学校で学童クラブを実施し、異学年との集団生活の中で、遊びながら運動に親しむ習慣と体力増進を図り、健やかな心身育成に努めます。

・対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R6実績見込
利用者数	35人	35人

4-3(4)長井市伊佐沢児童センターの経営

(支出区分:長井市伊佐沢児童センター) R7予算案 33,561千円 R6予算 31,752千円

・受入年齢 2歳～5歳児

区分	R7計画	R6実績見込
利用者数	9人	8人

4-3(5)長井市豊田児童センター・長井市豊田学童クラブの経営

(支出区分:長井市豊田児童センター) R7予算案 62,049千円 R6予算 62,213千円

- ・長井市豊田児童センター 受入年齢 2歳～5歳児
- ・長井市豊田学童クラブ 対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R6実績見込
児童センター 利用者数	32人	47人
学童クラブ 利用者数	59人	51人

4-3(6)長井市平野児童センター・長井市平野学童クラブの経営

(支出区分:長井市平野児童センター) R7予算案 62,460千円 R6予算 57,479千円

- ・長井市平野児童センター 受入年齢 2歳～5歳児
- ・長井市平野学童クラブ 対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R6実績見込
児童センター 利用者数	25人	26人
学童クラブ 利用者数	55人	46人

4-3(7)長井市中央児童センター・長井市中央学童クラブの管理運営

(支出区分:長井市中央児童センター) R7予算案 44,379千円 R6予算 42,360千円

市からの受託事業として、小学生を対象に、中央児童センターと長井小学校の2か所で学童クラブを実施し、異学年との集団生活の中で、遊びながら運動に親しむ習慣と体力増進を図り、健やかな心身育成に努めます。

- ・対象学年 小学校1年生～6年生

区分	R7計画	R6実績見込
北学童クラブ 利用者数	100人	77人
南学童クラブ 利用者数	72人	67人

4-4 受託事業**4-4(1)避難者生活相談支援事業**

(支出区分:法人事務局) R7予算案 2,738千円 R6予算 2,738千円

県社会福祉協議会からの受託事業として、市内に避難されている世帯を対象に、生活支援相談員を配置し訪問・相談活動や定期的な交流会を開催します。

区分	R7計画	R6実績見込
相談員人数	1人	1人
定期訪問回数	4回/年	4回/年
交流会回数	3回/年	3回/年

4-4(2)家族介護教室

(支出区分:法人事務局) R7予算案 250千円 R6予算 250千円

市からの受託事業として、在宅において介護をされている家族の方及び介護に関心のある方が、心身のリフレッシュと情報交換及び情報収集を行える場として、月1回交流会を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
開催回数	12回/年	12回/年

4-4(3)ふれあいサロン等送迎事業

(支出区分:法人事務局) R7予算案 4,597千円 R6予算 4,754千円

市からの受託事業として、ミニデイサービス事業の研修などに対し福祉バスを活用し、外出支援を行います。

区分	R7計画	R6実績見込
運行回数	520回/年	520回/年
運行距離数	39,000km/年	39,000km/年
利用人数	6,000人/年	6,050人/年

4-4(4)ふれあいサロン事業

(支出区分:法人事務局) R7予算案 12,504千円 R6予算 12,958千円

市からの受託事業として、在宅高齢者の生きがいと健康づくり活動、介護予防活動を展開し、社会的孤立感の解消と自立した生活の助長を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
開催日数	135日/年	135日/年
利用人数	3,375人/年	2,153人/年

4-5 自主事業**4-5(1)社会福祉活動功労者顕彰事業**

(支出区分:法人事務局) R7予算案 252千円 R6予算 250千円

多年にわたり社会福祉、ボランティア活動に献身的な努力を続けられ他の模範となる個人・団体などを顕彰し、福祉の高揚を図ります。

区分	R7計画	R6実績見込
表彰者数	30団体・個人	21団体・個人

4-5(2)福祉有償運送事業

移動に制約のある方を対象として、会員登録制をとり、福祉有償運送を行います。

4-5(3)物品貸与事業

高齢者や障がいのある方で一時的に車イス、その他の介護用具の利用が必要な方に短期間の貸し出しを行います。地域福祉に関する啓発活動、ボランティア活動、その他福祉的活動で使用する車イス、その他の介護用具、事務機器などの貸し出しを行います。

・貸出内容 車イスプロジェクター・スクリーン ほか

4-5(4)長井市社会福祉法人連絡会の支援

市内社会福祉法人の連携を図るため、活動の基盤となるプラットフォームを創設し、その中で地域貢献活動として「地域における公益的取組み」についての情報交換を行い、地域課題やニーズに対し連携・協働が図れるよう取り組みます。

4-5(5)老人クラブ連合会への支援(事務局担当)

地域社会を基盤として介護予防の一翼を担う老人クラブ活動を活発化し、相互扶助の地域づくりを図るため、会の運営及び活動について関係機関と協力し、その支援育成を行います。

・単位老人クラブ数22クラブ ・会員数925名

4-5(6)長井市民生委員児童委員協議会連合会の事務局

地域住民の最も身近な支援者として、要援護者に対する助言援助をはじめ活動がより充実するよう、会の運営の協力を行います。

・民生委員・児童委員 64名
 ・主任児童委員 6名
 ・単位民協 中央地区、北部地区、南部地区民協
 ・専門部会 老人福祉部、身障福祉部、児童福祉部
 ・委員会 主任児童委員会

4-5(7)長井・飯豊手をつなぐ育成会への支援(事務局担当)

知的障がいのある方の権利の擁護と在宅生活への支援を図るため、会員相互の連携と関係機関との協力により会の育成援助を行います。

・会員数31名

4-5(8)福祉サービスの苦情解決体制の充実

福祉サービス利用者の苦情解決の窓口として、社協内各事業所に設置の苦情解決委員会を開催し体制の充実を図ります。
山形県福祉サービス運営適正化委員会と連携しながら苦情の解決制度についての周知に努めます。

4-5(9)共同募金に関する事業(赤い羽根共同募金運動)

住民に身近な共同募金活動をめざし、市民各位のご理解とご参加を得ながら、社会福祉事業、福祉団体の助成、在宅福祉サービス活動を推進していきます。

- ・実施時期 10月～12月
- ・募金額 戸別募金 一世帯あたり470円をめぐに
法人募金 一企業あたり1,000円以上

4-5(10)共同募金に関する事業(歳末たすけあい運動)

新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、地区長会、民生委員児童委員協議会連合会の協力により事業を実施します。

- ・実施時期 12月
- ・募金額 一世帯あたり 400円をめぐに

4-5(11)地域福祉活動計画

「ささえあう 心をつなぐ ふくしのまち ながい」を基本理念に、第四期地域福祉活動計画推進期間(令和7年度～令和11年度)の初年度として計画的、体系的に、行政・関係機関と連携しながら地域の福祉活動をより一層支援していきます。

4-5(12)西置賜地方福祉連絡会議

西置賜一市三町の社会福祉協議会連絡会議活動を次のように行います。

- ・地域福祉・在宅福祉活動の連絡調整と研修、その他

4-5(13)置賜地方社会福祉協議会連絡会

置賜三市五町の社会福祉協議会で構成する置賜地方社会福祉協議会連絡会活動を次のように行います。

- ・社会福祉協議会役員、職員研修会
- ・地域福祉、在宅福祉活動の連絡調整、その他

4-5(14)組織体制の強化

地域福祉を推進する社会福祉協議会の役員・職員として、法人基本理念「みんなの力でやさしいふくしのまちづくり」及び基本方針・職員行動規範の下、より質の高い福祉サービスを提供するため資質の向上を図ります。

